



言語学の授業風景。講義から質問応答まですべて英語でやりとりされる。

国際教養学部

海外のインタビュー動画を鑑賞後、自然と交わされる英語での質疑応答。国際教養学部の早瀬博範学部長(69)は「大学の専門的な知識を英語で習得する。宮崎にいながら留学する状態が4年間続く」と学部の特徴を説明する。

1年次の授業には専門科目と言語の教員が2人体制で授業に臨む「チーム・テ

新しい未来へ
宮崎国際大学
開学30周年

②



Miyazaki International University

英語で専門知識習得

「海外研修」通し自信育む

学生生活に関する相談を上級生にできるサポートセンターなどを設け、語学力向上を支援。少人数制の授業で、教員と学生間の親密なコミュニケーションが取れる体制も築いている。

同大学によると、2023年卒業者の英語検定試験「TOEIC」の平均点は入学時の420点に対して、卒業時は660点。全国の大学生平均の539点、英語専攻大学生平均の591点を上回る。4年生の市原尚也さん(23)は「英語は全く分からなかつたが、授業でさまざまな人と英語で会話できることを知り、国際大を選んだ」と話す。来年から高校の英語教師になることが内定しており、「英語が苦手な子たちを引っ張っていくような教員になりたい」と意気込む。

2年次後期に実施する「海外研修」も同大学の大きな特徴で、大学やホームステイ先で外国の空気感を肌で学ぶ。言語学を教えるアン・ハワード教授(59)は、「留学から帰ってきた学生は自信がつき、見た目だけいきたい」と話す。

早瀬学部長は「さまざまな国の英語が飛び交い、多文化的な環境が生まれている。今後もグローバル社会で活躍できる人材を育てる」と期待される。

横断的に幅広い分野を学ぶ「リベラル・アーツ」を教育の中心に据え、時代に合わせてカリキュラムを変化させている。観光、経済、英語教育に特化したコースを設け、より専門的な能力を身に付け、キャリア設計に生かせるようにして、英語教育コースでは、海外研修で現地の高校生を相手に教育実習を行う取り組みも始める。

欧米やアジアなど世界15カ国の教員が在籍し、外国人教員比率は約8割というグローバルな環境を持つ同大学。近年は留学生も増え、国際色の豊かさが増すキャンパスで互いの相乗効果も期待される。

学生・職員紹介



国際教養学部教授
ジェイソン・アダチさん(58)

いろんな経歴や経験を持つた外国人教員がいるので、語学教育など学生の性格に合わせて教育できることが大きい強み。私自身は心理性に安心できる学習していると感じる。

環境づくりを心がけている。留学生の存在は日本人学生と互いに支え合える関係構築に寄与し、国際社会で活躍できる日本人を育てる

ことができる。留学生が日本文化とのハワイに似ていって、留学生が日本文化を学ぶ土地としても適

イーチング」を導入する。

中で人の移動が制限された新型コロナ禍の期間は、オンライン上で海外の大学教

授が教えることで異文化に直に触れる機会をつなげた。

で分かる」と明かす。世界